

### 3つしかって 7つほめるその1

三月の最終週、子どもたちは春休みの真っ最中。「花風屋」にも幼児さんから高校生まで幅広く子どもたちが買物に来たり、遊びに来たりします。

昨日は、託児の幼児さんに加えてスタツフの子どもたちが集まって、生後七カ月のベイビーを含めると何と！

九人。エネルギー満タンの子どもたちは、その消費活動に勤（いそ）しみまくり、下宿人たちの

「静かにしなさいー」の声もかき消されるありさまでした。それでもめげずに

「静かにしなさいー」を繰り返すYさんの迫力に、子どもたちの叫び声は少しずつダウンしていきました。

そういうえば、「きちんとしかる」のは「花風下宿人の伝統です。そもそもは、Tさんのお姉さんのMさんです。七年前のこと、

「夫(亡くなった)が待っているから、家に帰る」と言い張るMさんに付き添って一号館の近くを歩いていたら、道路の真ん中で子どもが四人遊んでいました。何気なく眺めながら歩いていたら私の耳に聞こえてきたのは、こんな声でした。

「どける！ どこで遊ぶんでいるんだ！」

「(エッ？ Mさんが怒っているー)」

何と、声を発していたのは私の横にいたMさんでした。子どもたちは、硬直した状態で素早く道路の端に移動しました。そんな子どもたちに向かって、今度はMさん、

「車にひかれたら、父さん母さん泣くぞ」と、諭すように話しかけました。

私は「さすが。明治生まれのおなごは違うわ」と、感心して話した。



NPO法人在宅生活支援  
サービスホーム花風

木村美和子理事長

# 花風屋繁盛記

連載21

## 人と人がつながって

### 「ガキは引っ込んでろー！」

我が家の娘も一度、TさんとKさんにダブルでしかられたこと

「TさんとKさんが言

ると、留守番を頼んでいて娘が半べそで待っていました。

「どうしたの？」と聞くと、

「TさんとKさんが言

ると、留守番を頼んでいて娘が半べそで待っていました。

「どうしたの？」と聞くと、

「TさんとKさんが言

ると、留守番を頼んでいて娘が半べそで待っていました。

「どうしたの？」と聞くと、

「TさんとKさんが言

ると、留守番を頼んでいて娘が半べそで待っていました。

「どうしたの？」と聞くと、

「TさんとKさんが言

ると、留守番を頼んでいて娘が半べそで待っていました。

「どうしたの？」と聞くと、

「TさんとKさんが言

ると、留守番を頼んでいて娘が半べそで待っていました。

「どうしたの？」と聞くと、



イラスト・木村玲

うことを聞いてくれないうの」  
と言います。  
娘の話の詳細を聞くたびに二人が台所に向か座ってて」  
と注意をしたのだそ

「ガキは引っ込んでろー！」の怒鳴り声で、  
「そっだ、そっだ引っ込

「ガキは引っ込んでろー！」  
と聞くと、  
「TさんとKさんが言

### 信念を持って しかる

その慣例を、「花風屋」に持ち込んだらどうなったか？ という話は次回にて。